



訪問先から病院、夏祭り、そして海の上まで！

今回は、手ぬぐいを身につけ、掲げ、日々のケアにも活用しながら、それぞれの場所で訪問看護を伝えてくださった活動をご紹介します。「それは何？」「こんな使い方もできるの？」。手ぬぐいに目が留まるところから、新しい会話とつながりが生まれています。

01 わそら街なかナースステーション 様（東京都）



訪問時に首に巻いて、イメージキャラクターの絵が見えやすいようにしたり、訪問先で活動についてお伝えしました。ある方は、次の訪問時に、「今日は手拭い持ってないの？」と覚えていてくださいました！もちろん、身につけてはいたのですが、やはり直接お伝えすることで、関心も高くなりますね。うつ的な方で、その日は、こちらからの質問にのみ答える状況でしたのに、手拭いの件は看護師へ尋ねてください、嬉しく思いました。



手拭い身につけ、笑顔を広げよう！

常に、イメージキャラクターの何かを身につけるのも良いなと感じました。訪問時の話題提供にもなります。また、世の中に訪問看護の存在を広めて、医療が必要な方へ訪問看護を活用することで、おうちで安心して暮らせる方が増えるように願っています。また、看護師さんへも訪問看護を知ってもらい一助となれば良いなと感じました。しっかりと勤務できなくとも、半日でも、1件でも訪問看護に携わってくださる方が増えると思うと思います。せっかくの国家資格を細く長く活かしてお互いに、暮らしやすい世の中になってほしいです。



02 訪問看護ステーション いな歩 様（兵庫県）



訪手ぬぐいPR活動の様子



訪問車のフロントガラスに手ぬぐいを掲示し、PR活動を行いました。

また、病院施設内の掲示板にPRポスターを作成・掲示するとともに、手拭いも合わせて展示し、来院者や職員の目に留まりやすいよう工夫しました。

訪問時には首に巻いて着用したり、リハビリ場面では上肢や体幹のストレッチの補助として活用しました。利用者様から「可愛い絵ですね」「何かのイベントですか？」と声をかけていただく機会もあり、日本訪問看護財団の取り組みについてお話するきっかけとなりました。手ぬぐいを通じて利用者様やご家族様との会話が広がり、訪問看護を身近に感じていただける良い機会になったと感じています。

03 すみれ訪問看護ステーション 様（愛知県）



蜂に刺された

玄関脇の草取り中に蜂に刺され、保冷材で冷やすために「これぞ、災害時に役立つ手ぬぐい！」と活用しました。



夏祭りたこ焼き

夏祭りでたこ焼きを作るスタッフが、気合を入れてハチマキに活用！おそろいで、目に留まりました。



訪問看護スタッフ

手ぬぐいを見て、災害時に役立つ使い方を学び、「今日も訪問看護、元気に頑張ろう！」の朝の様子です。



ピンポン！防犯にもお役立ち！

ピンポンちゃんが、窓から外をキリッと見張って、防災だけでなく防犯にも一役買ってくれています。

04 訪問看護ステーションにしこう博多 様（福岡県）



いつものインスタにキメ顔投稿

SNS活動の中に盛り込ませて頂きました！

「ほーこんな使い方あるんやねー」「包帯巻ける？」など盛り上がってました。事務所内・外問わず保冷剤を巻いて涼しくなるなど活躍しました！

利用者様や家族とも話のネタになること、そこから知人に話したり写真を見せてくれたり広がりを感じました。

スタッフや家族を見て笑顔が増えていたので良い企画だなと感じました。

05 合同会社つなぐ訪問看護ステーション 様（北海道）



出発前撮影



船内慰霊後

令和8年度北方四島交流事業「洋上慰霊」に参加。

客船に全国から応募された元島民およそ70名の乗客があり、その中で救護班として乗船し、てぬぐいを持参し訪問看護を周知しました。

今回の企画は良かったです。



エトピリカ号

活動報告を通して、一枚の手ぬぐいが訪問看護を周知するだけでなく、日々のケアの中で会話や関わりを生むきっかけにもなっていることを知り、私たちも心を動かされました。思いがけない広がりを知らせてくださった皆さまに、心より感謝いたします。引き続き、皆さまからのご報告を、お待ちしております！



活動報告フォームは
こちら

URL <https://forms.gle/FoE8qR744dkLV1Jd6>

ご報告いただきたい内容

- ☒ 活動の内容（300字以内）
- ☒ 活動のお写真
- ☒ お写真のタイトル
- ☒ その他、ご感想など

